

Book Review

プロフェッショナルコミュニケーション 土屋和子のデンタル NLP & LAB プロファイル

土屋和子 著



Reviewer

山崎長郎 Masao Yamazaki
(東京都・原宿デンタルオフィス)

A5判, 118頁
定価 2,520円
(本体 2,400円+税 5%)
医歯薬出版刊



現在の歯科医療は、一時代前と比較して治療のコアの部分が大きく変化してきていることを痛感する。それは、治療が欠損補綴治療のような大掛かりなものから、予防・口腔衛生管理へとシフトしてきているということである。それゆえ、歯科治療における歯科衛生士の役割は以前よりもはるかに重要なものとなっている。

そのような折、タイムリーにも著者は時代を予感させる書籍『プロフェッショナルコミュニケーション』を上梓した。

本書は、自分へと他人との2種のコミュニケーションについて書かれたものである。コミュニケーションに関しては、自身の経験や体験によってその要領を習得するものだが、主観的なものであるがゆえに悩む者も多いと聞く。本書は、成功者の多くが参考にする学問、NLP（神経言語プログラミング）を基本としており、著者の歯科医療界にフォーカスした展開は今までにないもので、すべての人が学ぶべき必須科目と言えるであろう。

著者とは知り合ってから35年にもなるかという間柄であり、歯科衛生士として第一線をリードしてきた彼女が、今後の人生を賭けてこの学びを歯科医療界に広めようとする意気込みを本書から感じる。

本書には「相手の反応がコミュニケーションの成果である」というコラムがあり、そのなかで述べられる「相手の反応が結果であり、責任は自分にある」という言葉には誰も納得するのではないだろうか。

また、本書で示される事例は歯科医療界に特化したものであるので実践的であり、巻末には「私が出会った素敵な人びと&言葉」として彼女が影響を受けた人とのエピソードも紹介されている。ぜひとも、歯科医師にも薦めたい一冊である。

前述のように、歯科医療の中心が変化しつつあること、また歯科医療のビジネス・スキームが変革しなければならぬことを認識するためにも、本書は必携であろう。もちろん、読み方は自由であり、読者が好きなように解釈

し本書を利用しても、その歯科人生における何らかのヒントが得られるのだと確信している。

余談ではあるが、著者との思い出は数限りなくあるが、私が米国の歯科治療に憧れてともに研鑽を積んでいた時の思い出が最も記憶に残っている。この頃、われわれは若く意気盛んで、何でも見聞きして自分の血となるように努力していた。

よく考えてみると著者は、その人生の節目ごとに必ず良い歯科医師と出会い、そこから刺激を受け勉強し、一步一步を積み重ねて、自分のワールドを確立してきた。これからの著者の役割は、若き歯科衛生士たちに夢と希望を与え続け、教育していくことだと思う。もちろん、さらに新しきものを今までの経験と合わせ、独自のアーティクルとウェイオブライフを現役であるかぎり継続していくことだろう。

本書で前述のことは言及されているが、これからも新しき経験と臨床から何らかのヒントを掴み、さらに成長することを著者に期待する。